

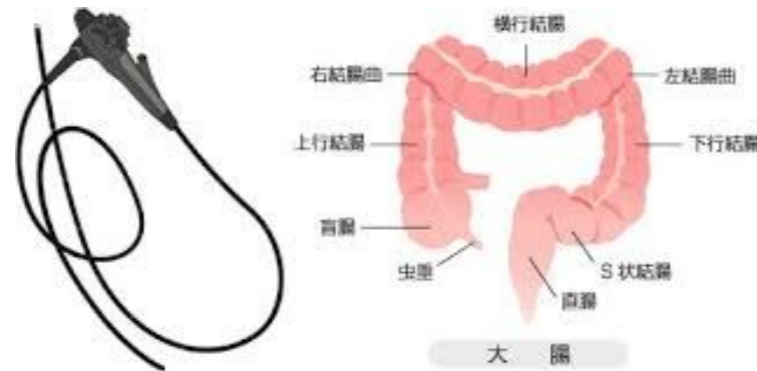
2018年4月から 2種類の新規オプションを開始いたします！！

下部消化管内視鏡検査(大腸内視鏡検査) 人間ドック後日のオプション検査

どんな検査？

大腸ポリープ、大腸がんなどを発見するために、肛門から柔らかい管の先にカメラの付いた内視鏡を挿入し、直腸から盲腸までを観察する検査です。いわゆる「大腸カメラ」の検査です。

内視鏡による大腸癌発見率(0.26%)は便潜血検査(0.049%)の**5.3倍**と高率です。(人間ドック731:55-66, 2016)



※ 注意事項

- ①人間ドックでの下部消化管内視鏡検査では、「**観察のみ**」で生検(臓器の一部を採取する組織検査)及び「**処置等**」は行いません。
- ②80歳以上の方及び腹痛、便秘、下痢症状の強い方は対象外です。診療科受診をお勧めします。
- ③腹部手術歴のある方や体型により盲腸まで観察できない場合があります。
- ④下部消化管内視鏡検査にはリスクが存在します。検査及び治療に伴う偶発的な出血、穿孔などの重篤な偶発症の発生頻度は全国集計で0.011%(約10,000人に1例)の割合で発生します。
80歳以上の方は消化器内科にご相談ください。



- 1 料金
¥21,600円(消費税込)
眠った状態での内視鏡検査(セデーション(鎮静))をご希望の場合は、事前にお申し出ください。その場合は、10,800円の料金(消費税込)が追加となります。
- 2 申込方法
人間ドック当日までにお電話等でお申し出ください。
- 3 検査の流れ
 - (1)人間ドック当日
人間ドック当日、医師の面談を必ず受けていただきその場で「説明書」、「問診票」、「同意書」及び検査日の前日に飲む下剤をお渡しします。検査日は火、木、金曜日ご予約いたしますが、**枠に限りがありますので、ご希望に沿えない場合があります。**(人間ドック当日看護師と日程を決めさせていただきます。)
 - (2)検査日前日
夜、お渡しした下剤をお飲みいただきます。
 - (3)検査当日
8:15までに人間ドック受付へお越しください。料金をお支払いいただき、検査室へご案内します。

ご不明な点は右記へお問い合わせください。

女性のための婦人科系オプション検査 子宮頸がんを早期発見！！

子宮細胞診と合わせて、将来、子宮頸がんになる危険度をチェックします。

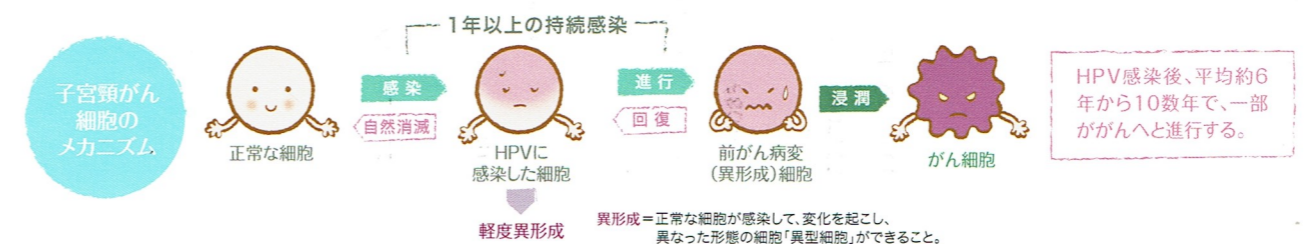
HPV検査(ヒト・パピローマウイルス検査)



どんな検査？

一般的にいう子宮がん検診は「子宮頸がん検査」を指しますが、これまでは子宮頸部の細胞を採取して顕微鏡で観察する「細胞診」が主流でした。「細胞診」では、がんの細胞だけでなくがんの前段階である「異形成」の細胞を発見し早期治療につなげていました。

近年、子宮頸がんは性交渉などからHPV(ヒト・パピローマウイルス)に持続感染することで引き起こされることが分かってきました。



集団を対象とした自治体検診では、

- 1 子宮頸がん死亡率の減少効果が不明であること
- 2 感染しても自然治癒することがあること
- 3 HPV感染者が全員発がんするわけではないこと

などから実施していませんが、子宮細胞診と併用することによって、将来、子宮頸がんになる危険度をチェックすることができます。

検査を希望される場合は、婦人科細胞診時に採取した細胞でできますので、事前にご希望いただければ追加での検査のご負担はありません。

- 1 料金
HPV(ハイリスク) ¥5,400円(消費税込)
(16, 18型,その他のハイリスクグループが判ります。)
- 2 申込方法
人間ドック当日までにお電話等でお申し出ください。
- 3 検査について
外部検査機関での検査となりますので、当日は結果は判りません。後日のお知らせとなります。
ご不明な点は右記へお問い合わせください。